


 日本生殖看護学会ニュースレター

Japanese Society of Fertility Nursing (JSFN)


 No.48

## ● ● ● 目 次 ● ● ●

・第15回日本生殖看護学会学術集会	1
・平成29年総会報告	2
・平成29年度予算	4
・第12回生殖看護実践セミナーの開催報告	4
・これから行われる学会・研修会情報(2017.11~2018.2)	5
・研究支援個別相談会の開催案内	6
・勉強会の開催案内(関東地区)	6
・勉強会の支援と助成	7
・理事会報告	7
・学会誌への投稿のご案内	8



## 第15回日本生殖看護学会学術集会報告 「生殖看護を意思決定支援の立場から再考する」

学術集会長 有森直子（新潟大学大学院保健学研究科）

平成29年9月10日（日）新潟日報メディアシップ2階日報ホール、20階空の広場において、新潟では珍しい雲ひとつない秋晴れの中第15回日本生殖看護学会を無事に開催することができました。参加いただきました皆様、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

さて、今回は「生殖看護を意思決定支援の視点から再考する」をメインテーマとし、本テーマでの会長講演、教育講演「着床・妊娠維持における黄体ホルモンの役割」エンゼルマザークリニック 荒川修先生、シンポジウム「医療は不妊状態にある人々の意思決定を支援しているか」問題提起者：河合蘭氏（出産ジャーナリスト）、指定発言者：赤星ポテ子氏（妊活イラストレーター）、村上貴美子氏（看護師）、吉村泰典氏（医師）、ランチョンセミナー「受精着床環境と次世代の健康を考える」早稲田大学 福岡秀興先生、一般演題：研究報告12件、実践報告3件そして新しくインフォメーションエクステンジ（IVF大阪クリニック、岡山二人クリニック、蔵本ウイメンズクリニック、国立成育医療研究センター）という企画を加えました。講演の幾つかは、今後日本生殖看護学会誌に掲載される予定です。

学術集会の優秀賞は、研究：「AYA世代にある小児がん経験者の恋愛や結婚、親になることへの過程」京盛愛枝氏（福井大学医学部附属病院）、実践報告：「周産期の喪失と不妊治療－グリーフカウンセリング来談者の傾向－」石井慶子氏（ART岡本ウーマンズクリニック）が選ばれました。

皆様からお寄せいただいたアンケートからは、概ね学会の目標は達成できたと評価しております。

会長講演でお伝えしたスライドメッセージを教えて欲しいとの声がありましたので、この紙面を借りて紹介

させていただきます。このメッセージは、ラインホルド・ニーバの祈り The Serenity Prayerを原文としていますが、日本語訳はいろいろあるようです。今回のものは、生命倫理の研究をご一緒させていただいた聖路加看護大学（現聖路加国際大学）、西村哲郎チャプレンからいただいたカードの訳です。

「神よ、変えられないものを受け入れる心の静けさと変えられるものを変える勇気とその両者を見分ける英知をお与えください」

最後に、本学会のさらなる発展と皆様のご健闘を祈念して挨拶とさせていただきます。

## 第15回日本生殖看護学会学術集会 発表を終えて

千葉大学大学院看護学研究科 前原邦江

「生殖補助医療を受けた女性の妊娠の受けとめ」は、本学会より研究助成を受けて取り組んだ研究の一部です。この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

今回、口演発表とディスカッションを通して、考察の視点を見つめ直すことができ、その先の看護介入につながる示唆を得ることができました。これは学会発表の収穫だと思います。また個人的にも、本学術集会は、本研究テーマの中心にある不妊治療経験の意味づけについて“再考する”機会になりました。今後、臨床に還元できるよう研究を発展させていきたいと思っています。

## 第15回日本生殖看護学会学術集会に参加して

さち・レディースクリニック 古賀久美子

『生殖看護を意思決定支援の視点から再考する』をテーマに新潟にて学術集会が開催された。学術集会の他にインフォメーションエクステンジが設けられ、施設で情報提供のツールとして実際に患者に配布されているリーフレットの閲覧、活用の実際を訊くことができた。シンポジウムではジャーナリスト、治療体験者、看護師、医師の立場から意見を時系列（治療導入時、治療中、終結するとき）に沿って討論が進められた。意思決定は最終的に患者自身に委ねられるが、決断を迫られるシーンでいかにその方に適した時期相応の情報提供、思いの傾聴、援助ができるかを再考する良き学びの場になった。

## 平成29年 日本生殖看護学会 総会報告

日時：平成29年9月10日（日）13：35～14：05  
会場：新潟日報メディアシップ 日報ホール  
出席者：会場出席者47名、委任状150通（本学会則18条により総会成立）  
議長：有森直子氏（第15回学術集会長）

### 【報告事項】

#### 1. 理事会報告（野澤理事長）

平成28年度に開催された4回の理事会および3回の臨時理事会の報告・審議事項。

#### 2. 総務（事務局）報告（森〇〇理事）

平成29年8月10日現在、会員数は366名。  
会員管理、関連団体・機関への対応、学会ホームページの運営と管理を実施。

#### 3. 事業報告（平成28年9月1日～平成29年8月31日）

##### 1) 将来構想の検討（野澤理事長）

将来構想の検討事項として4つの短期目標、および短期目標4に該当する活動の一環として第20回日本IVF学会学術集会に共催としてパネルディスカッションを実施予定。

##### 2) 常任委員会

##### (1) 実践開発委員会（村上理事）

NPO法人Fine主催の「Fine祭り2016」に本学会員の不妊症看護認定看護師を不妊相談員として派遣。

不妊症看護認定看護師メーリングリストの運営。

##### (2) 教育推進委員会（坂上理事、青柳理事）

関東地区の勉強会の実施支援、第11回生殖看護実践セミナーの企画・運営。

各地区勉強会の支援および助成のお知らせ

をHP、NLに掲載、関東地区勉強会に助成金交付。

(3) **広報委員会（實崎理事）**

NL45～47号の企画・編集および発行、関連学会・研修会に発送、HPにNL掲載。学会案内リーフレット・学術集会案内ポスターの配布とPR活動。

(4) **編集委員会（有森理事、崎山理事）**

編集委員会事務局の移転、学会誌第14巻第1号発行および編集活動。

学会誌の電子化を検討、業者委託を検討。

(5) **将来検討委員会（上澤副理事長）**

国内外の情報収集と発信、研究助成の運営・管理（未実施研究の助成金返金）。

研究助成の公募・審査・採択1件。

会員の研究促進活動の開催。

3) **特別委員会**

(1) **看保連対応ワーキンググループ（清水理事、森恵理事）**

看保連社員総会、診療・介護報酬あり方検討委員会、三保連シンポジウム等の会議・研修会に参加し、最新の動向を入手。

医系関連他学会との情報交換を行い、平成32年度診療報酬改定に向け、「不妊症指導管理料（仮）」（新設）のエビデンスとなる調査を開始。

4. **平成29年度研究助成審査結果（上澤副理事長）**

助成手続、公募方法、審査方法に関する内規を基に学会HPおよびNLを通じて公募後、平成29年申請は1件を採択。

5. **第16回学術集会（野澤理事長）**

第16回学術集会

会長：實崎美奈氏（産業医科大学 広域・発達看護学 准教授）

日程：2018年9月9日（日）

会場：福岡市

**【審議事項】**

1. **平成28年度収支決算ならびに会計監査（清水理事、村本監事、森恵監事）**

清水理事より平成28年度の一般会計及び特別会計の収支決算（案）を報告。

森恵監事より平成28年度収支決算に関して、監査を執行した結果、適切であったことを報告。

\*報告事項に関し会場出席者の挙手により承認。

2. **平成29年度事業計画案（野澤理事長）**

1) **学会の将来構想の検討：将来構想をふまえた目標4点を提示**

短期目標1：生殖看護を定義し、概念化する。

短期目標2：生殖看護のコンピテンシーを明確にするための取り組み。

短期目標3：学会活動を見直し、会員の満足

が高まるような活動充実を図る。

短期目標4：関連職種・関連学会との具体的な連携を図るための取り組み。

2) **総務（事務局）**

個人情報保護法に基づいた会員管理とHPの運営・管理の実施。

関連団体・機関への会議出席や学会としての意見提出の実施と拡大。

3) **常任委員会**

(1) **実践開発委員会**

相談員派遣業務、CNのネットワーク作りと継続教育の支援、社会貢献活動。

CNが本学会学術集会長に就任した際のバックアップ、学術集会の抄録の査読協力。

(2) **教育推進委員会**

セミナーの開催および勉強会の支援、第12回生殖看護実践セミナーの開催。

第13回生殖看護実践セミナーの企画・準備、勉強会の開催支援、NL報告。

(3) **広報委員会**

ニュースレターの企画・編集および発行、関連学会等でのPR活動。

(4) **編集委員会**

日本生殖看護学会誌第15巻第1号の発行およびタイムスケジュール。

(5) **将来検討委員会**

研究助成関連の運営・管理及び活用方法の検討、国内外の情報収集と発信。

ケアの質の向上に向けた将来検討委員会の取り組み。

4) **特別委員会**

(1) **看保連ワーキンググループ**

看保連の総会、臨時総会、委員会等に出席、診療報酬改定に向けたエビデンス構築の推進。

「不妊症外来における相談の実態調査」の論文投稿。

\*平成29年度の事業計画案は、会場出席者の挙手により承認。

3. **平成29年度収支予算案の承認（清水理事）**

平成29年度の収支予算案が提示され、会場出席者の挙手により承認。

4. **第16回学術集会の告知（實崎美奈氏 次年度学術集会長）**

産業医科大学の實崎美奈氏より第16回学術集会の日程と場所を報告。

5. **第20回日本IVF学会の案内（野澤理事長）**

第20回日本IVF学会学術集会に共催としてパネルディスカッション実施予定の報告および参加案内。

## 平成29年度 収支予算書

(平成29年9月1日から平成30年8月31日まで)

日本生殖看護学会

## 一般会計

## 収入の部

(単位：円)

大科目	小科目	予算額	備考
会費収入	年会費	2,900,000	360名×8000円、2名×10,000円
繰越金	前年度繰越金	4,340,329	
収入合計 (A)		7,240,329	

## 支出の部

科目	小科目	予算額	備考
会議費	理事会会議費	800,000	往復はがき代
	総会費	50,000	
事業費	広報委員会	300,000	ニューズレター発行・リーフレット印刷 セミナー開催・勉強会助成金 相談員の派遣 学会誌発行 研究助成金積立 第16回学術集会補助費
	教育推進委員会	130,000	
	実践開発委員会	70,000	
	編集委員会	420,000	
	将来検討委員会	150,000	
	学術集会補助費	200,000	
事務費	人件費	350,000	アルバイト (PC入力・HP管理)
	通信費	60,000	
	消耗品費	90,000	
団体登録料	日本看護系学会協議会	80,000	【160,000】
	看護系学会等社会保険連合	70,000	
	日本カウンセリング学会	10,000	
活動費	ワーキンググループ活動	200,000	看保連・すこやか親子21 IVF学会共催
		100,000	
選挙管理費	選挙管理委員会活動	【150,000】	
		150,000	
支出合計		3,230,000	
予備費等		4,010,329	
総支出合計 (B)		7,240,329	

## 特別会計：研究助成金積立金

(単位円)

小科目	予算額	備考
平成29年度積立金	100,000	一般会計より
平成29年度助成金	100,000	1名助成
前年度までの積立金	938,104	
合計 (A)	938,104	

## 第12回生殖看護実践セミナー開催報告

【テーマ】「妊娠を視野に入れた女性の健康と中医学」

【日時】平成29年9月9日(土) 13:30~16:00

【場所】新潟日報メディアシップ 日報ホール

【講師】西條信義先生(西山薬局・西山鍼灸院代表)

【参加者】92名(会員72名、非会員20名)

同日午前の不妊症看護認定看護師ポストコースから継続した参加者69名。

【セミナーの内容】

1. 講演「妊娠を視野に入れた女性の健康と中医学」

中医学の基本となる①万物を分ける五つの要素「木・火・土・金・水」や、②病気の原因「内因・外因・不内外因」、③からだをめぐる三要素「気・血・水」などの考え方から、気血水のチェックと舌診な

どによる体質の分類と、それぞれの分類に応じた日常生活や食生活の工夫、使用される漢方薬、不妊の原因に応じた漢方薬などについて、わかりやすくご講演いただいた。

2. ツボ療法の体験

ツボ療法の体験の時間には、不妊症をはじめ、冷えや疲労、ストレス、首や肩の凝りなどに活用できるツボについてご説明いただいた後、「百会」や「足三里」、「三陰交」、「風門」、「肩井」など14のツボ刺激を実際に体験することができた。

3. アンケートによる評価

講演及びツボ療法の体験ともに約90%の参加者が「とても役立った」「役立った」と回答した。

講演に対しては、「中医学の内容はとても興味があつたので勉強になった」、「漢方や鍼灸について患者様から質問されることが多いので、とても役立った」、「食生活の大切さも勉強になった」、「身近で手軽に患者さん自身が工夫できることとして食生活の工夫を伝えたい」などの意見があつた。

ツボ療法の体験については、「明日から不妊患者さんにアドバイスできる有効な情報だった」、「実際にツボを押しながら説明を聞き、リラックスできたので、ツボ押しの効果を感じた」、「自分自身の身体のためにもなったので、セルフケアとしてやっていきたい」などの意見があつた。セミナー中だけでなくセミナー終了後も質問が多く、活発なディスカッションが行われた。



報告：教育推進委員会

これから行われる学術集会・研修会情報 (2017年11月～2018年2月)

月	日	学会・研修会名	会場	学会 HP / 運営事務局
11月	3日	JSFP-Oncofertility Consortium JAPAN meeting 2017 「がん・生殖医療の現状と課題 ～医療連携の全国展開に向けて～」	岐阜大学サテライト キャンパス (岐阜県岐阜市)	<a href="http://www.jsfp.org/dl/OCJAPANmeeting20171103.pdf">http://www.jsfp.org/dl/OCJAPANmeeting20171103.pdf</a> (株)ヒューマン リプロ・K 〒226-0003 神奈川県横浜市緑区鴨居6-19-20 TEL : 045-620-7560 FAX : 045-620-7563
	4日・5日	日本女性医学学会学術集会(第32回) 「これからの女性医学 ～予防とオーダーメイド医療～」	リーガロイヤルホテル大阪 大阪国際会議場 (グランキューブ大阪) (大阪府大阪市)	<a href="http://jmwh32.umin.jp/">http://jmwh32.umin.jp/</a> (株) MA コンベンションコンサルティング 〒102-0083 東京都千代田区麹町4-7 麹町パークサイドビル402 TEL : 03-5275-1191 FAX : 03-5275-1192 E-mail : jmwh32@macc.jp
	16日・17日	日本生殖医学会学術講演会(第62回) 「生殖医療の潮流を読み解き、 幸多き未来へ」	海峡メッセ下関 (山口県国際総合センター) (山口県下関市)	<a href="http://www.congre.co.jp/jsrm62/">http://www.congre.co.jp/jsrm62/</a> 株式会社コングレ九州支社 〒810-0001福岡市中央区天神1-9-17-11F TEL : 092-716-7116 FAX : 092-716-7143 E-mail : jsrm62@congre.co.jp
	16日	2017年度 生殖コーディネーター講習会 「対応が難しいと感じた事例」	海峡メッセ下関 (山口県国際総合センター) (山口県下関市)	<a href="http://www.congre.co.jp/jsrm62/top/training_session.pdf">http://www.congre.co.jp/jsrm62/top/training_session.pdf</a>
12月	2日	日本生殖看護学会 関東地区勉強会 「不妊治療における意思決定支援 出生前診断、着床前診断における 看護師の役割とは」	聖路加国際病院 旧館5階 研修室 A (東京都中央区)	E-mail : kanntoutikubennkyoukai@gmail.com
	2日・3日	日本糖尿病・妊娠学会年次学術集会 (第33回) 「母児の健康と糖代謝異常」	シーガイア コンベンションセンター シェアトングランデ (宮崎県宮崎市)	<a href="http://www.dm-net.co.jp/jsdp/2017info/poster.pdf">http://www.dm-net.co.jp/jsdp/2017info/poster.pdf</a> (株) MA コンベンションコンサルティング 〒102-0083 東京都千代田区麹町4-7 麹町パークサイドビル402 TEL : 03-5275-1191 FAX : 03-5275-1192 E-mail : jsdp33@macc.jp

12月	16日・17日	日本看護科学学会学術集会(第37回) 「看護におけるダイバーシティ・ デザイン：社会が求めるケアイノ ベーションをめざして」	仙台国際センター (宮城県仙台市)	<a href="http://convention.jtbcom.co.jp/jans37/index.html">http://convention.jtbcom.co.jp/jans37/index.html</a> (株)JTB コミュニケーションデザイン ミーティング &コンベンション事業部 プロデュース2局 〒105-8335 東京都港区芝3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング13階 TEL: 03-5657-0610 FAX: 050-3730-3977 (グリーン FAX) E-mail: jans37@jtbcom.co.jp
2月	11日	日本がん・生殖医療学会学術集会 (第8回) 「がん・生殖医療の新展開－希望 を持ってがんとたたかうために」	御茶ノ水ソラシティ カンファレンスセンター 2Fホール (東京都千代田区)	<a href="http://j-sfp.org/dl/JSFPsympo20180211pos170804.pdf">http://j-sfp.org/dl/ JSFPsympo20180211pos170804.pdf</a> (株)ヒューマン リプロ・K 〒226-0003 横浜市緑区鴨居6丁目19-20 TEL: 045-620-7560
	25日	日本生殖心理学会学術集会 (第15回)	都市センターホテル (東京都千代田区)	<a href="http://www.jsrp.org/5">http://www.jsrp.org/5</a>

## 研究支援個別相談会開催のお知らせ（日本生殖看護学会将来検討委員会）

研究計画と実施、抄録や論文の書き方、パワーポイントの作成など、生殖看護に関する研究を考えておられる会員の皆  
様を対象に、関東と関西で2回の個別相談を行います。

テーマ：会員のための研究支援個別相談会-実践報告や研究発表の個別相談に応じます。

講師：日本生殖看護学会将来検討委員および理事

日時・場所：第1回 2017年12月2日（土）10時～12時 関東地区勉強会の前の午前中開催です

聖路加国際大学505室（東京都中央区明石町10番1号）

第2回 2018年3月17日（土）10時～14時 京都での開催です

京都橋大学清優館103室（京都市山科区大宅山田町34）

参加費：1000円 定員：各4～5名（先着）

申し込み方法：氏名、所属、会員番号、連絡先電話、メールアドレス、簡単な相談内容を明記の上、以下の日時までに  
メールでお申込みください。

第1回参加希望者は11月17日（金）まで・第2回参加希望者は3月2日（金）まで

<申し込み先・問い合わせ先>

日本生殖看護学会将来検討委員長：上澤悦子

〒607-8175 京都市山科区大宅山田町34 京都橋大学看護学部

e-mail: kamisawa@tachibana-u.ac.jp TEL: 075-574-4249（直）

## 2017年度 関東地区勉強会のお知らせ

このたび、下記のように勉強会を開催いたします。会員の皆様には多数のご参加をお待ちしております。また、お知り  
合いの方にもご案内いただけますようお願い申し上げます。

日時：2017年12月2日（土）13：00～16：00（12：30開場）

会場：聖路加国際病院 旧館5階 研修室A

講師：青木美紀子先生 聖路加国際大学 遺伝看護学講座 准教授

聖路加国際病院 遺伝診療部 認定遺伝カウンセラー

テーマ：不妊治療における意思決定支援 一出生前診断、着床前診断における看護師の役割とは一  
タイムスケジュール：

13：00～13：30 [受付] 13：40～14：40 [講演] 14：40～14：45 [質疑応答]

14：45～15：00 [休憩] 15：00～15：45 [ディスカッション・発表] 16：00 [終了]

会費：学会員1,000円 非学会員1,500円

申し込み方法：同封のチラシのQRコードまたはURLより申し込みフォームでお申込みください。

<https://goo.gl/forms/9UBg5HKiDl9t3fZz2>

ご不明な点は担当までお問い合わせください。

担当：西岡有可 E-mail: kanntoutikubennkyoukai@gmail.com

申し込み期限は2017年11月23日（木）先着80名です

## 各地区で開催する勉強会の支援

教育推進委員会では、会員が主催する各地区の勉強会を支援したいと考えております。初めて企画を担当される方、あるいは自分たちの地区でもぜひ勉強会を開催したいけれどどうしたらよいかわからない…等、お気軽にご相談ください。勉強会を企画されている代表者の方は、開催日時、開催場所、テーマあるいは内容、連絡先（住所、電話番号、FAX番号、メールアドレス）等を下記の連絡先までご連絡下さい。また、日本生殖看護学会ホームページには、勉強会の企画に関する資料が掲載されています。日本生殖看護学会のニュースレターやホームページにも広報を掲載することが出来ます。資料を参考にさせていただきます。

## 勉強会等の運営費の助成

生殖看護の実践に関する勉強会を支援するために、勉強会等の運営費を助成します。助成金は企画1件につき1万円、当該年度の助成は3件までです。日本生殖看護学会ホームページに、応募資格や応募方法等が掲載されていますので、ご覧ください。また、助成に関してご意見等がありましたら、下記の連絡先までご連絡ください。

【勉強会に関する連絡先】教育推進委員会 担当理事 千葉大学大学院看護学研究科 坂上 明子

E-mail: akiko-sakajo@faculty.chiba-u.ac.jp 電話&Fax : 043-226-2411

## 日本生殖看護学勉強会等助成要項

### 【助成の趣旨】

日本生殖看護学会員による生殖看護の実践に関する勉強会を支援するために、勉強会等運営費を助成し、日本生殖看護学会員サービスに寄与し、生殖看護の発展を図ることを目的とする。

### 【助成の対象】

会員個人または共同で開催する勉強会等企画者を対象とする。

### 【応募資格】

1. 勉強会企画代表者は会員であって、会員歴2年以上である者。
2. 共同で企画する場合は、代表者以外の共同企画者も勉強会開催時に本学会会員である者。
3. 勉強会予算案を日本生殖看護学会員と非会員の参加費に格差をつけ、作成していること。

### 【助成金】

助成金は勉強会の企画1件につき1万円を限度とし、当該年度の助成は3件までとする。

### 【助成期間】

平成29年9月1日～平成30年8月31日までの約1年間とする。

### 【応募方法】

1. 学会所定の勉強会助成申請書に必要事項を記載し、1部を学会教育推進委員会宛にメールで申請する。メールの件名は「日本生殖看護学会勉強会助成申請」とする。
2. 応募受付期間：平成29年9月1日～平成30年6月30日、ただし、勉強会開催の2か月前までに応募する。
3. 申込先：日本生殖看護学会教育推進委員会 担当理事 坂上明子  
〒260-8672 千葉市中央区亥鼻1-8-1  
千葉大学大学院看護学研究科 リプロダクティブヘルス看護学領域  
TEL&FAX : 043-226-2411 E-mail : akiko-sakajo@faculty.chiba-u.jp

### 【選考及び助成の決定】

教育推進委員会において選考の上、応募から1か月以内に、応募者にメールで通知する。

### 【助成金の使途】

勉強会の企画・運営に必要な講師料、物品費、旅費、通信・運搬費、印刷費などを含む。

### 【勉強会の成果の報告】

1. 助成を受けた者は、勉強会終了後、参加人数および成果、収支決算を教育推進委員会にメールで報告する。
2. 勉強会の内容および成果は、ニュースレターに掲載する。



## 理事会報告



### 第3回臨時（書面）理事会

日時：2017（平成29）年5月12日（金）

場所：書面による。

#### 【審議事項】

1. 入会審査：12名の入会を承認。

### 第3回理事会

日時：2017（平成29）年8月10日（木）

17：40～20：40

場所：聖路加国際大学本館5階506室

出席者：野澤、上澤、森明、青柳、實崎、有森（学術集会長兼務、スカイプ）、崎山、清水、坂上、森恵、村本

#### 【報告事項】

1. 第15回日本生殖看護学会学術集会準備の進捗状況。
2. 理事長：第20回日本IVF学会学術集会パネルディスカッション企画の進捗状況。
3. 広報委員会：広報委員会活動計画およびNL発行計画案。
4. 教育推進委員会：第12回生殖看護実践セミナー準備の進捗状況。
5. 編集委員会：学会誌第14巻発刊、学会誌編集作業の業

者委託とオープンアクセス化の検討状況。

6. 将来検討委員会：第3回将来検討委員会勉強会、研究助成審査実施状況、研究助成金返却状況。
7. 総務：会員管理、HP管理、学会費払い込み、学会誌・NLの宛名の作成等の総務活動状況。
8. 看保連対応WG：平成30年度診療報酬・介護報酬改定に関する要望書提出、診療報酬エビデンス作りの共同研究の進捗状況。

#### 【審議事項】

1. 第16回学術集会大会長の實崎美奈先生への変更を承認。
2. 入会審査：4名の入会を承認。
3. 平成28年度収支決算（案）を一部修正。
4. 平成29年度収支予算（案）を一部修正。
5. 不妊症看護認定看護師教育課程の開講計画の確認。

#### 第4回理事会

日時：2017（平成29）年9月9日（土）

16：50～19：00

場所：新潟日報メディアシップ ナレッジルームA

出席者：野澤、上澤、森明、坂上、青柳、實崎、有森（学術集  
会長兼務）、村上、村本、森恵

#### 【報告事項】

1. 第15回日本生殖看護学会学術集会準備進捗状況。
2. 第16回日本生殖看護学会学術集会準備進捗状況。
3. 理事長：第20回日本IVF学会学術集会パネルディスカッション進捗状況。
4. 教育推進委員会：第12回生殖看護実践セミナー参加状況。
5. 実践開発委員会：2017年ファイン祭り相談員決定状況。
6. 将来検討委員会：研究助成金返却報告。平成29年研究助成計画書修正後採択。
7. 編集委員会：選任査読委員の登録依頼と査読委員推薦依頼。

#### 【審議事項】

1. 入会・退会審査：1名の入会と20名の退会を承認。
2. 平成29年総会要綱（案）を承認。
3. 平成29年総会進行（案）を承認。
4. 2017年ファイン祭り相談員の交通費支給上限を検討。
5. 平成28年度収支決算書（案）および平成29年度収支予算書（案）を承認。
6. 生殖看護のテキスト企画を検討。

## 研究論文を学会誌に投稿してみませんか？

日本生殖看護学会誌に投稿しませんか？ 本学会誌は日本で唯一の生殖看護に関する専門誌であり、原著論文の他にも研究報告や資料等の投稿種類がいくつかあります。

ご自分の論文を仲間と共有したり、ご協力いただいた研究協力者の方に還元したりする機会として、学会発表にとどまらずに是非ご投稿ください。本学会は、ピアレビューを原則としておりますが、投稿までの手続き等は編集委員がサポートいたします。多くの方からの投稿をお待ちしております。

第15巻第1号学会誌の投稿締め切りは、2017年11月24日（金）必着です。

\*投稿の詳細は、学会誌やHPに掲載する「論文投稿規定」をご確認ください。

## 事務局からのお知らせ

1. 第16回学術集会、編集委員会への問合せは、それぞれの事務局に直接お願いいたします。
2. 日本生殖看護学会への問い合わせ、会員に伝えたい情報、HP、ニュースレターに関するご意見・ご希望等ありましたら、E-mailもしくはFaxで、気軽にご連絡ください。
3. 学会の年会費は8,000円です。会費納入は事業運用上、できるだけお早めをお願い申し上げます。
4. 異動・転居された方は必ず事務局までお知らせください。宛先不明ですと、ニュースレター、学会誌をお届けすることができませんので、ご協力お願い申し上げます。
5. 会員数366名（平成29年8月10日現在）です。学会の活性化を一層はかるため、生殖看護に関心のある、お知り合いの方にぜひ入会をお誘いください。入会案内および入会申込書は学会ホームページからダウンロードできます。

### 日本生殖看護学会

Japanese Society of Fertility Nursing: JSFN

〒104-0044 東京都中央区明石町10-1

聖路加国際大学内

TEL & FAX：03-5550-2293

E-mail：jsin@slcn.ac.jp

ホームページ：http://jsin.umin.jp

口座番号：00170-2-333414

加入者名：日本生殖看護学会

### ◆編集後記

9月に新潟で開催された学術集会では、生殖看護において重要なケアの1つである「意思決定の支援」について考え、インフォメーションエクステンジでは日本の生殖看護をリードする不妊症看護認定看護師が所属する4施設から情報提供の実際について学ぶことができました。学術集会長を始めとする運営スタッフの皆さま、本当にありがとうございました。

広報委員会 實崎美奈

### ●次号の原稿締切日

ニュースレター第49号の原稿締切日は、2018年1月22日（月）を予定しています。